

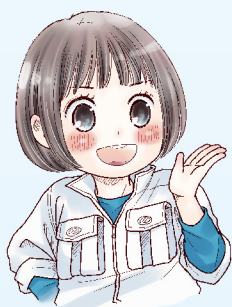
水害が、 こんなに身近なんて 知らなかった

荒川上流河川事務所 × ブルーサーマルー 青風大学体育会航空部ー
(新潮社/バンチコミックス)



2019年10月に猛威を振るった台風19号(令和元年東日本台風)を覚えていますか。荒川流域でも堤防が決壊するなど甚大な被害をもたらしました。

激甚化する水害から暮らしを守るためには、堤防やダムなどの施設の整備だけでなく、流域に関わる国・県・市町村に加え、企業、そして



住民の皆さんが担い手になって

対策に取り組む「流域治水」が必要です。また、一人ひとりが水害に備えておくことも被害軽減の取り組みの一つです。

これから大型の台風や豪雨が発生する季節です。水害を「我がこと」と考え、まずはあなたが暮らす地域の水害リスクを知っておきましょう。



荒川・羽根倉橋付近(右岸)=2019年10月14日埼玉新聞掲載



荒川上流
河川事務所



小沢かなさんのグライダー漫画『ブルーサーマルー 青風大学体育会航空部ー』(新潮社/バンチコミックス)と荒川上流河川事務所がコラボしました。描き下ろしイラストと共に荒川の今を紹介します。

国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町3-12 TEL:049-246-6371 <https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo>



荒川上流で

検索

あなたの地域の水害リスクを知ろう



洪水ハザードマップを入手しよう

ハザードマップポータルサイト

ハザードマップポータルサイト

で 検索



洪水ハザードマップは、洪水が起きた場合に浸水の危険がある区域や危険レベル、避難ルートや避難場所などの防災情報を地図にまとめたものです。浸水の深さが色分けされているなど、危険な場所や深刻度がひと目で分かります。各自治体の窓口で配布されているほか、インターネットでも入手できます。



スマホでもハザードマップを入手できます

浸水リスクをシミュレートしよう

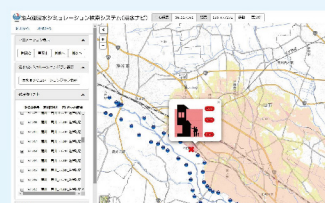
浸水ナビサイト

浸水ナビ

で 検索



国土交通省の「浸水ナビ」サイトは、浸水想定区域を電子地図上に表示します。主要な河川の堤防が決壊した場合に、時間の経過とともに浸水エリアがどう広がるか、浸水がどれくらい継続するかなどが分かります。浸水リスクをアニメーションで確認できる、洪水ハザードマップのシミュレーション版です。



浸水の広がりが時間経過とともに分かります

国土交通省関東地方整備局 荒川上流河川事務所

〒350-1124 埼玉県川越市新宿町3-12 TEL:049-246-6371 <https://www.ktr.mlit.go.jp/arajo>



荒川上流で

検索